

京都ボランティア協会 2011年度事業計画（案）

目次： I 事業

1 【ボランティアコーディネート事業】	…1ページ
2 【援助・交流事業】	…1ページ
3 【広報事業】	…2ページ
4 【研修事業】	…2ページ
5 【研究事業】	…3ページ
6 【協会発足40周年・社団法人化15周年 記念活動】	…3ページ
7 【地域密着型外部評価、介護・福祉サービ ス第三者評価事業】	…3ページ
8 【企業・労働組合の社会貢献活動の推進】	…4ページ

II 組織・運営

1 【組織・運営体制整備】	…4ページ
---------------	-------

I 事業

【1. ボランティアコーディネート事業】

予算(千円)

事業項目	継・新	開催時期	事業目的	事業内容	収入	支出	備考
ボランティアコーディネートの実施	継続	通年 年4回程度	・ボランティア活動の啓発と推進による社会貢献。 ・相談業務等から見える生活・福祉ニーズの把握と分析。 ・ボランティア登録者継続と増加を推進。	①ボランティア相談・需給調整実施(ボランティア団体やNPO、当事者やボランティア活動を求める人たちなどの相談や支援、情報提供、ボランティア保険相談、講師派遣等) ②ケース検討・情報交換会議の定例化 ③関係機関情報交換会議への参加 ④ボランティア交流会・学習会等の実施 ⑤「きょうボラ」発行(年4～5回)※広報に再掲 ⑥大学等への事業紹介活動の実施(年間計画化) ⑦ボランティア登録者の増員 ⑧ボランティアコーディネート事業体制の整備	14	2,216	

【2. 援助・交流事業】

事業項目	継・新	開催時期	事業目的	事業内容	収入	支出	備考
第5回きょうボラふれあい祭開催	継続	4月～ 開催時期・場 所未定	・祭準備段階から企画・運営を協働による連携強化による人材発掘と育成。 ・ボランティア、関係団体、企業他との連携推進と新たな活動の創造・発信。	①ボランティアスタッフ等の学習会 ②実行委員会の設置(企画・運営) ③祭のホームページの管理 ④バザー物品、抽選物品の確保	1,520	3,963	

				⑤広報の充実(パンフレット・ちらし他) ⑥きょうボラふれあい祭の開催 ⑦祭記録・報告書の作成			
サロン活動 「ねこのてさろん」の運営	継続	通年	・「たがいのねこのてになろう」:お互い様精神復活。 ・多様な興味や関心を持つ人たちとの交流を通じた「居場所」や仲間づくり。 ・多様なメニュー企画立案作りによる人材及び団体交流。	①単発活動企画の年間計画化 ②居場所機能の充実 ③既存活動グループ化、自主運営化 ④新規グループの開拓			
ウエスグループへの支援	継続	通年 月2回 第2、4木曜	・活動歴25年近いグループであり、協会活動の支援者である。メンバーの高齢化により、活動の継続を目的に支援する。	①ウエス作業支援(ウエス販売含む) ②ミニバザーの実施支援 ③ウエスグループ&「よりあい」の場の充実 ④ウエスグループスタッフによる諸団体の啓発活動への参加・協力・支援(共同募金他)			

【3. 広報事業】

事業項目	継・新	開催時期	事業目的	事業内容	収入	支出	備考
「ボラタス」他広報事業	継続	年4～5回	・「ボラタス」「きょうボラ」他媒体による情報提供と発信。 ・ホームページにて情報の公表を行い広く市民への広報活動。	「ボラタス」発行(年4～5回) 「きょうボラ」発行(年4～5回) ホームページ管理	0	1213	

【4. 研修事業】

事業項目	継・新	開催時期	事業目的	事業内容	収入	支出	備考
地域とのつながりを共創する	継続	未定	・地域や高齢化等からくる問題を探り、地域の文化や自然、町おこし等によるボランティア活動を考える。	①地域の現状や課題を知る。また取組みの先進事例を学ぶ学習会等の開催。 ②地域の過疎化や高齢化等からくる問題を探り、地域の文化や自然、町おこし等を考える機会をもつ。	937	1,372	
記録手法・ITによる情報発信講座	継続	連続3日間	・活動記録技法の一つとして学習する。	パソコン講座—ボランティアグループ、NPO団体、事業所などを対象に実施する。多くの写真を20分ぐらいにまとめ、ナレーションや音楽、字幕を入れ見やすい記録の作り方を学ぶ。			
障がい者ガイドヘルパー養成講習	継続	連続3日間	・障がい者対象介護技術や制度面の学習機会の提供と介護従事者増員。 ・新たな人材育成。	国基準に即した障がい者介護にかかる研修、終了後京都市承認書を発行する。(知的・全身性障がい)			
華頂高等学校ボランティア講座への講師派遣	継続	通年・2クラス	・学生へのボランティア活動啓発や推進の機会の提供。 ・当事者等との交流。	高等学校3年生を対象にボランティア講座を担当する。ボランティア活動の基本的精神や意義、取組みや課題を学び、ボランティア学習に供する。また、当事者個人・団体を招き活動紹介や当事者のメッセージを受け止める機会とする。			

高齢者・障がい者・こども分野講座実施	継続	未定	・各領域の現場で当面している課題を現場から学ぶ。	各領域の課題を学び、もってボランティアグループ、NPO団体との連携を図る。			
福祉史跡&事跡ガイド養成講座実施	継続	未定	・京都の福祉史跡&事跡を学習し市民に広く紹介する。 ・新たな人材育成と社会貢献。	既存の冊子「福祉史跡&事跡」を中心に説明・案内できるガイドの養成を図る。京都の福祉の歴史を学ぶ機会とする。			

【5. 研究事業】

事業項目	継・新	開催時期	事業目的	事業内容	収入	支出	備考
地域とのつながりを共創する	継続	調査準備	・農村集落の課題について学ぶ。	選定した地域に対し、検討チームをつくり、課題等の調査・検討を行う。		0	
学生インターンシップについて	継続	調査	・多様な人材との活動を目指し、特に学生層との協働、参画による活性化。	関連情報の収集と、プログラム化。	39	0	立命龍短大
ボランティアコーディネーター講座	新規	未定	・地域で生じている様々な生活・福祉課題の理解。 ・地域で求められるボランティアコーディネーターを研究する。	在宅で、地域で発生している課題を知る。人と地域を結ぶコーディネーターの役割を学ぶ。			

【6. 協会発足40周年、社団法人化15周年記念活動】

★協会発足40周年、社団法人化15周年記念活動	新規	未定		5月決算総会で補正予算を編成する			
-------------------------	----	----	--	------------------	--	--	--

【7. 地域密着型外部評価、介護・福祉サービス第三者評価事業】

事業項目	継・新	開催時期	事業目的	事業内容	収入	支出	備考
地域密着型外部評価事業の充実	継続	通年	・質の高い評価を目指す。	・評価員の増員 ・評価者の研修体制の充実	4,980	4,386	
介護サービス第三者評価事業の充実	継続	通年	・質の高い評価を目指す。	・評価員の増員 ・評価者の研修体制の充実			
福祉サービス第三者評価事業の充実	継続	通年	・質の高い評価を目指す。	・評価員の増員	2,150	1,852	

				・評価者の研修体制の充実			
評価・調査事業の管理・運営体制の整備	継続	通年	・効率的な事務運営	・評価・調査機関としての事務体制の整備			

【8. 企業・労働組合の社会貢献活動の推進】

事業項目	継・新	開催時期	事業目的	事業内容	収入	支出	備考
企業・労働組合との協働と交流	継続	通年	・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。	①協会事業(祭等)への参加および企画等への参画。 ②社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会の提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)。 ③ボランティア活動や講座の情報提供や発信。			

II 組織・運営

【1. 組織・運営体制整備】

事業項目	継・新	開催時期	事業目的	事業内容	備考
組織基盤の強化	継続	通年	・会員増員・確保に取組み組織基盤を強化する。 (正、賛助、後援会員 目標合計400名)	①会員拡大委員会の設置 ②イベント等参加団体・者への会員案内・勧誘 ③各新聞社・関係団体の広報媒体の活用 ④理事、会員との交流の機会を設ける	
運営体制の整備	継続	通年	・ボランティアと協調しつつ、迅速効率的な事務執行体制を築き、運営体制を整える。	①新公益法人移行事務体制の強化と、迅速な事務遂行 ②事務局体制の整備(人員の補強) ③理事、ボランティアスタッフ、事務局員との連携の強化(再掲) ④ボランティアスタッフ研修会の実施 ⑤評価・調査事業の管理・運営体制の整備(再掲) ⑥ボランティアコーディネーター事業体制の整備(再掲)	
ボランティアビューローの管理・運営	継続	通年	・有効な管理運営をし、友好的で開放的な場を目指す。	①利用状況の把握・管理 ②広報物の掲示・整理	
財源の確保	継続	通年	・財源確保による安定的事業運営。	①助成金の確保 ②ボランティア団体賠償保険の加入勧誘 ③会員拡大	